

解体業の用に供する施設概要

〔規則第57条第1号に掲げる施設基準適合状況〕

解体作業場以外の場所	使用済自動車又は解体自動車を保管する場合の当該場所の周囲の囲い及びその範囲	
	油等が漏出するおそれのある使用済自動車又は解体自動車を保管する場合の廃油、廃液の流出・地下浸透防止措置	
	燃料の抜取（回収）作業における廃油の流出・地下浸透防止措置	
	分離した部品のうち廃油、廃液が漏出するおそれのあるものを保管する場合の措置	
解体作業場	燃料以外の廃油、廃液の回収装置	
	廃油、廃液の地下浸透防止措置	
	廃油の流出防止措置	
	雨水等による燃料以外の廃油、廃液の流出防止措置	
その他設備の概要		
備 考		施設の平面図、立面図、断面図、構造図、設計計算書及び公図、施設付近の見取図を添付

解体業 事業計画書・収支見積書

年 月 日 現在作成

1 - 1 事業の全体計画（業務を行う時間、従業員数、休業日を含む。）

（フロー概要図を添付）					
業務時間		従業員数	人	休業日	

1 - 2 使用済自動車等の引取実績及び計画

年 度	年度実績 （3年前）	年度実績 （2年前）	年度実績 （1年前）	許可取得後の 年間計画
受入台数	台	台	台	台
主な受入先				

1 - 3 解体実績

年 度	年度実績 （3年前）	年度実績 （2年前）	年度実績 （1年前）
年間処理実績	台	台	台
年間稼働日数	日	日	日
平均処理実績	台/日	台/日	台/日

## 1 - 4 解体能力

1日当処理能力	稼動予定日数	年間処理能力
台/日	日	台

## 1 - 5 保管の状況

使用済自動車		解体自動車	
保管量の上限	台 ( 台)	保管量の上限	台 ( 台)
現在保管量	台 ( 台)	現在保管量	台 ( 台)

事業所以外の場所で保管している場合は、その台数を内数で( )に記入すること。

## 1 - 6 年間収支見積書

項 目		前年度( 年) (決算月( 月))		今後の見込み (年間)	
		年度	(1台当)	年度	(1台当)
		(千円)	(円)	(千円)	(円)
売上高(全体)	ア(総売上収入)				
売上原価	イ(使用済自動車等購入費)				
その他の経費	ウ				
うち廃棄物処理委託料	エ				
営業利益	ホ=ア-イ-ウ				
営業外損益	カ(主に支払利息(注))				
経常利益	キ=ホ+カ				
使用済自動車等年間引取台数					
使用済自動車等年間処理台数					

## (参考)

	前年度末	現在
債務総額(年度末残高) (千円)		

- (注) 1 「1台当」額は、売上原価は引取台数で、その他は処理台数で割ること。  
 2 支払利息のみの場合又は支払利息が受取利息より多い場合はマイナス計上すること。  
 3 今後の見込み「経常利益」がマイナスとなる場合には、別途、5年間の長期収支見積書を提出すること。